

# みんなの議会

2026年2月  
第104号



夢に  
向かって!

## はたちを祝う会 1月11日ゆめっくる

未来を担う若者たちの新たな門出、終始笑顔の会場でした。



- P2 第4回定例会 主な議案
- P4 町政を問う  
7名(8件)が一般質問
- P7 シリーズ検証  
「一般質問のその後を追う」
- P8~9 議会の動き
- P10 みんなの広場  
はたちを祝う会で  
3人にインタビュー



# 令和7年 第4回 定例会

## 12月16日

令和7年第4回定例会が上記の日程で開催され、令和6年度沼田町一般会計等並びに水道事業会計、下水道事業会計の歳入歳出決算認定の報告をはじめ、町長の一般行政報告および教育長の教育行政報告の後、7名の議員が8件の一般質問を行いました。

## 上程されたおもな議案

以下の議案について、全会一致で承認しました。

- 沼田町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について
- 沼田町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について
- 沼田町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について
- 沼田町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について

## 補正予算

### 一般会計

令和7年度一般会計の予算を2億3192万円追加し、総額を81億1648万円とする補正予算を承認しました。以下は主な事業となります。

■キャンパスライスプロジェクト委託料  
65万円増

■ふるさと納税関連費  
記念品、通信運搬費、手数料 2億3500万円増

■自動車学校費  
正面玄関自動ドア修理 126万円

■高齢者世帯等福祉灯油支給事業補助金  
289万円

■移住促進住宅費  
旧中学校校長住宅修繕 140万円増

■町立沼田厚生クリニック医療機器購入  
助成金（X線用電子カルテ） 275万円増

■沼田農業所得向上対策事業補助金  
87万円増

■観光情報プラザ管理費  
警報システム導入委託料 45万円

### 特別会計

以下の補正予算を承認しました。

■沼田町後期高齢者医療特別会計  
子ども・子育て支援金制度システム改修委託料  
94万円

■沼田町下水道事業会計  
浄化センターディッチ攪拌機更新工事  
1419万円

今回の傍聴者は6名でした



沼田町議会の定例会はライブ配信で!

スマホやパソコンのYouTubeを使って見ることができます。生中継なので議会の開会中にぜひご覧ください。もちろん議場で傍聴していただくと一番臨場感がありますが、役場ふれあいの1階ロビーにあるテレビでも視聴することができます。

YouTube再生回数  
355回でした

## 第1回 臨時会

1月19日に第1回臨時会が開催され、以下の案件を承認しました。

### ■条例改正

- ・町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
- ・特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
- ・沼田町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例

### ■指定管理者の指定

- ・町立沼田厚生クリニック  
…北海道厚生農業協同組合連合会（10年間）
- ・沼田町観光情報プラザ…沼田町商工会（5年間）
- ・沼田町駅前多目的広場…沼田町商工会（5年間）
- ・沼田町農産加工場  
…コーミ北のほたるファクトリー(株)（5年間）
- ・沼田町農産物共同利用予冷施設  
…北いぶき農業協同組合（5年間）
- ・沼田町米穀低温貯留乾燥調製施設  
…北いぶき農業協同組合（5年間）
- ・沼田町高品質堆肥製造施設  
…北いぶき農業協同組合（5年間）

### ■一般会計の補正予算

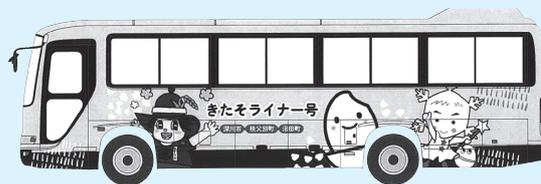
- ・物価高騰対策事業（物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金） 5,414万円
- ・国民健康保険システム移行委託業務 212万円
- ・物価高騰対応子育て応援手当支給事業 631万円
- ・農業担い手確保・経営強化支援事業 240万円
- ・人事院勧告に基づく給与改定 2,305万円

- ・夜高会館ホイストクレーン外改修事業  
（債務負担行為） 580万円



令和8年度に改修するホイストクレーン

- ・道北バス沼田深川線車両ラッピング 60万円



ラッピングバスのデザイン

### ■特別会計の補正予算

- ・和風園・旭寿園・グループホームなごみの物価高騰対策事業の補正予算
- ・和風園・旭寿園・グループホームなごみの令和7年度人事院勧告に基づく給与改定の補正予算
- ・水道事業会計・下水道事業会計の令和7年度人事院勧告に基づく給与改定の補正予算

町長、教育長への

一般質問



伊藤 淳 議員

「ふるさとづくり基金の」有効活用を



横山 茂 町長

計画的に活用したい

伊藤

ふるさと納税は令和7年11月末現在において、12億円の受納状況であり、約18億円がふるさとづくり基金に積み上がっていると考えます。

令和2年度に町が示した「沼田町公共施設のあり方」にある各施設の改修に加え、町民からも様々な要望が出されている。

これまでふるさと納税の受納には議論が行われてきたが、基金の活用についてはこれからだと思ふ。長年の課題を解決できる財源ではあるが、際限なく使えるものでもない。基金の有効かつ計画的な活用をどう考えるか聞きたい。

町長

ふるさと納税として全国の皆様からいただいた寄附は、心のこもった貴重な財源なので、今後の沼田町に必要な事業や施設の改修・建設には有効かつ計画的に活用していきたいと考えます。

公共施設のあり方は、いただいたご意見を踏まえて精査をしながら議論を進めています。

また、ふるさと納税を通じて雪中米などの特産品をより広く知っていただき、沼田町の知名度を一層高めるとともに、全国の皆様に引き続き応援していただけるようPRに努めます。



長野 時敏 議員

留萌本線廃線後にどのような未来図を描くのか



横山 茂 町長

鉄道資産を観光、経済の要にしたい

長野

沼田町駅未来協議会が10月16日に石狩沼田駅廃止後の活用策をまとめた提言書を町長に手渡した。

提言書には駅舎を町発展の歴史や鉄道史を伝える施設として再整備、廃線レールを譲り受け列車展示やトロッコ体験に活用、観光案内所の駅舎内への移設、駅裏の鉄道用地跡を活用して道の駅を整備する4項目が記載されていた。

この提言を受けていつまでにどのような未来図を描くのか、町長の考えを聞きたい。

町長

JRの廃線により町が受ける影響は非常に大きいと認識しますが、それによって町が衰退す

る事態はあってはならないと考えます。

住民に不安を与えないことを第一に、公共交通の確保に全力で取り組んできました。

住民からの提言を受け、鉄道資産を町の観光、経済の要として生まれ変わらせ、次世代につなげたいと考えます。

JR北海道と廃線後の資産譲渡に向けた本格協議の準備を進めているところで、譲渡条件がはっきりした段階で全体的な活用案について説明したいと思ふ。



アイスクャンドルに照らされる  
カウントダウンボード



上野 敏夫 議員

## 石狩沼田駅跡地を利用した事業展開は

拙速ではなく丁寧な議論を行いたい



横山 茂 町長

### 上野

沼田町駅未来協議会が町に提出した、JR石狩沼田駅鉄道跡地を利用したまちづくりに関する提言書の内容が実現できた場合、その財源と効果をどのように算出するのか。実現性の担保のためには専門機関の調査検討を依頼する必要もあるのでは。

来年3月までに沼田町としての構想を出すことができれば、アピール効果大きい。できるだけ早く町長としての考えを示してほしい。



今となっては希少な車輜となったキハ54

### 町長

JR留萌本線全線廃止が決まった段階で沼田町駅未来協議会での検討が始まり、今後の地域活性化策を提言していただきました。町民の皆さんとしっかり協議を行いながらできることから具現化していきたいと思います。

提言書に書かれている内容に関する総事業費や効果は、JR北海道との協議がこれからのので現段階では予測できていませんが、国や道からの補助金あるいはクラウドファンディングも活用することを検討したい。

町の存亡に関わる重要な事業であるため、拙速ではなく丁寧な議論をしたいが、協議の間にJR施設を借用することは可能と思われるので、当面は駅舎を観光協会などの事務所として使用しながら活用方針をまとめたいと思います。



三浦 実希 議員

## 住宅リフォーム補助制度の見直しと更なる拡充を

次回の制度設計時に検討するのが最適



横山 茂 町長

### 三浦

近年、物価高騰や建築資材費の上昇が続き、町民が住宅のリフォームをためらうことも予想される。現在の補助制度が町民ニーズに十分に答えられていないと感じる。

移住・定住施策だけでなく、これまで長く住んでこられた町民の皆さんがこれからも安心して住み続けられる住環境を整えることは重要だと考える。

現行の住宅リフォーム補助制度は現在の町民ニーズに適しているのか、補助上限額の見直しをしてより利用しやすい制度にできないか、町長の考えを聞きたい。



### 町長

本事業の補助率及び上限額は事業開始当初と変わっていませんが、財政状況を総合的に勘案し、もっとも効率的に事業を継続できる水準として設定しています。

制度期間途中での補助率や上限額の変更は、制度の安定性と公平な利用機会を確保する観点から適切ではないと考えます。

本事業が定住促進や地域経済活性化に果たす役割の重要性は認識しています。現行制度が令和9年度末までの期限付きであることから、事業効果や町民ニーズの変化、町の将来的な財政負担などを分析した上で、新たに補助率等の制度設計を行う際に検討するのが最適と考えます。



久保 元宏 議員

3種の沼田オリジナル酒とトナリエ北広島の役割は

沼田町のブランド化に役立てたい



横山 茂 町長

久保

沼田町をアピールするオリジナル酒3種、雪なごり、クラフトビール、ワインのそれぞれの目標をどう設定しているか。

日本酒の販売ルート開拓、ビールの地元産原料確保、ワインへの支援をどうするのか。

トナリエ北広島のビアキッチンに関係人口拡大に効果があるが、そのホームページを沼田町と接続させることや飲食だけでなく物販のプラットフォームとして全国に売っていくことが必要ではないか。

沼田町オリジナル3酒飲み比べ箱詰めギフトが販路拡大につながるのではないか。

持続と発展のためには全国ブランド化戦略が必要だが、役場の支援はどうなっているか。

町長

雪なごりとクラフトビールは売上を伸ばすことではなく、沼田町ブランドを広めることを目標としています。

雪なごりの販路拡大は、沼田町ビアキッチンの出店

により札幌方面の飲食店や小売業者と接点ができる。ビールの原料であるホップは将来的に町内産を目指している。ワインの製造に関しては、申請内容に基づいて制度に沿った支援を考えていきます。

沼田町ビアキッチンのSNSで店舗情報を発信しつつ、町の公式媒体との連携で効果的な発信につなげたいと思います。

トナリエ北広島での酒類販売は、運営元のまちづくりぬまたが免許取得に向け準備しています。

オリジナル酒3種飲み比べ箱詰めギフトはふるさと納税返礼品として取り扱いたい。

行政が行う支援と事業者が主体的に行う取り組みを明確にした上で、全国ブランド確立を目指していきます。



沼田町ビアキッチンの店内



篠原 暁 議員

物価高騰対策の次の一手は

何が最も有効か検討し早急に対応する



横山 茂 町長

篠原

円安など様々な影響で諸物価高騰が止まらない。特にお米の値段が高く家計を直撃している。政府はお米券配布を中心とする方針を打ち出しているが、いくつかの問題から実施しないと宣言する自治体が出ている。

沼田町元気応援商品券は年末を控えて家計応援効果が期待されるが、この事業には100万円ほどの事務経費がかかっている。

道内でも水道料の減免を実施する自治体がある。家庭だけでなく事業者も対象になれば有効な経済対策であると考えます。

商品券の次の一手を町長はどう考えているか。

町長

これまでエネルギー価格や物価高騰に伴う生活支援緊急対策として12回、本町独自に商品券を発行してきました。

特に冬場は灯油価格高止まりの影響もあり、生活上欠かすことのできない家計支援として使用されています。

商品券発行には確かに交付金を財源として事務を行っていますが、仮に水道料金の減免を行う場合にもシステム変更などの事務経費が必要となり、水道未加入者への公平性の配慮も必要です。

今後の支援については全世帯全町民を対象とした際に何が最も有効か検討を進め、早期の実現に向けて対応します。



篠原議員のその他の質問

問 町民に情報発信の場の提供を

答 トラブル回避のためにも実施は困難



大沼 恒雄 議員

重点支援地方交付金の活用で物価高騰対策を

国からの予算配分がわかり次第早急に対応したい



横山 茂 町長

大沼

総合経済対策として閣議決定された中に、物価高騰対策が掲げられている。この交付金は、地方自治体が独自の判断で使えるものと理解する。

豪雪地帯である沼田町では、冬期間の不安要素は除雪費と灯油代と考える。今回の交付金を最大限に活用して、全世帯に除雪費と灯油代の支援を行えないか。

水道料金減免については緊急支援なので単年度になるかもしれないが、実施するのもひとつの考え方ではないかと思う。

生活支援と併せて、事業支援も高齢者福祉施設や町内会の会館に対して行えることがあるのではないか。

町長

期限付きでも実施をしなければならないことには当然取り組みたいと思います。

特別支援が必要な世帯に対しては、子育て世帯への暖房費、高齢者世帯には暖房費と除雪費を支援しています。加えて全世帯に対して商品券という形で支援をしています。

今回の重点支援地方交付金を使った支援には何が最良なのかを検討しているところで、国からの予算配分額など詳細がわかり次第早急に対応していきたいと思います。

高齢者福祉施設や町内会への支援は今回の総合経済対策に該当するのか、実施要項を確認した上で検討したいと思います。

シリーズ検証

第6弾

一般質問のその後を追う

議員が定例会ごとに行う一般質問は、その後どうなったのか。シリーズ第6弾は令和7年第1回定例会における篠原議員の一般質問です。



問 避難所指定施設に冷房設備を

答 必要性は理解するが慎重に検討する



学校体育館への空調整備設置例  
(文科省の資料より)

★その後の対応 (教育課)

令和8年度に小学校体育館への冷房設置を提案できるよう、現在準備を進めているところです。設置については、国の交付金を活用しながら、なるべく町の負担が少なくなる方法で進めたいと考えております。

一方で、中学校体育館については、築50年が経過し、断熱性が国の交付金条件を満たしていないため、設置するためには断熱工事も含めた更到大掛かりなものとなります。体育館の今後のあり方も含めた検討を引き続き進めてまいります。

# 総務民教建設常任委員会

## ～自然エネルギーの活用～

地球温暖化の原因となる化石燃料の使用量を減らすためには、自然エネルギーの活用に転換していくことが必要です。沼田町に適した自然エネルギーは何か、その答を探るためにそれぞれ地域の特性を活かした取り組みを行っている先進地を視察してきました。

太陽光発電には冬場に発電量が減るという弱点があります。夏場の発電により1年をトータルすると既存エネルギーの使用を減らすことができるという発想もありますが、それよりも通年で効果を発揮するシステムはないのか、その点を重点にして議論も進めてきました。3月議会ではそのまとめを報告する予定です。



厚真町ではバイオマス発電の電力と廃熱を利用してイチゴを栽培していました

## ～平和の文化の推進～

昨年のテーマを発展させて、今年は沼田町でどのように平和の文化に取り組んでいくか協議してきました。現在は今後の進め方の参考とするために町民皆様の声を集約しています。右のQRコードからアンケートのページにつながりますのでぜひご協力ください。



# 産業福祉常任委員会

## ～障がい者と共に幸せに暮らせるまちづくり～

沼田町が掲げる第6次沼田町総合計画における障がい者福祉政策は、障がい者の自主性・自立性の確立、障がいのあるなしに限らずすべての人のためのまちづくりの推進、障がいの重度化、重複化及び高齢化への対応、そして総合的な施策を推進の目標としています。

産業福祉常任委員会では、沼田町の現状の把握を行い、障がいを持つ方や支える方が必要とするものや取り組むべき事業などを調査し、町民が幸せに暮らせるまちづくりを協議しています。

以前調査した「農業関係人口を維持する政策ビジョン」において、農家と福祉事業所を繋ぐ農福連携事業の推進を図っている空知総合振興局との意見交換も参考に、働く場所のマッチングや子どもたちが楽しく過ごせる場所づくり、保護者が安心して預けられる環境づくりなど障がい者福祉施設も含め調査を行います。



以前の空知振興局との意見交換

## 議会改革調査特別委員会

### 町民とつながる議会を目指して

11月14日（金）14時～16時 暮らしの安心センター内カフェコーナーにおいて、2回目となります「議会カフェ」を開催いたしました。テーマは「議員のなり手不足について」と「今後の公共施設などへの要望について」でした。コーヒーなどを飲みながら、気やかな雰囲気の中で5名の町民の方々と懇談し、意見を聞かせていただきました。



お茶を飲みながら気軽に懇談しました



話しがはずみ思わず笑顔がこぼれました

## 第2回 議会モニター会議

12月22日に第2回議会モニター会議を行い、3名の議会モニターが参加して下さいました。令和7年度第4回定例会の補正予算の説明や一般質問に対する評価について、また議論を重ねてきた議員定数と報酬についてのこれまでの経緯とスケジュールの説明をして意見をいただきました。議会モニターからは、雪を利用した沼田町食料貯蔵流通基地構想のさらなる要望の強化やふるさと納税返礼品のメニュー拡大、物価高騰、熊対策や防災関連の確認等などの質問があり、またJR廃線後の鉄路を利用し運転体験などができる沼田ならではの活用についての提案もありました。



議会モニターに説明をする畑地副議長

## 議員セミナー

12月18日に行った議員セミナーで、沼田町におけるGX（グリーントランスフォーメーション）の取り組みを学びました。

企業からの派遣で沼田町のGXに取り組んでいる担当者から説明を受け、議員からも活発な質問が出されました。

現在の町のCO<sub>2</sub>排出量2,500トンに対して町有林では3,000トンが吸収されており、さらにCO<sub>2</sub>排出量を減らす努力が必要不可欠なことがわかりました。



GX推進員のお二人から説明を聞きました

# みんなの広場

## はたちを祝う会にてインタビュー

沼田町商工会に勤務する<sup>いわい さく</sup>若井櫻空さん



Q：将来の夢は？

A：経済的にも余裕があり、社会貢献できる人になりたい

Q：欲しいものは？

A：新車です！

Q：沼田町に思うことは？

A：過疎化が進まないにぎやかな町にしたい



<sup>あらかわりん か</sup>大学生の荒川凜佳さん



Q：将来の夢は？

A：看護師を目指しています

Q：欲しいものは？

A：睡眠時間

Q：沼田町に思うことは？

A：いつまでも平和に自然豊かでいてほしい



町内建設会社に勤める<sup>シルフィア イリファニー</sup>Silvia Ilvaniさん



Q：どこの国から来ましたか？

A：インドネシアです

Q：振袖で参加した感想は？

A：とても楽しいです

Q：将来の夢は？

A：大人として責任を持ち頑張りたいです

Q：ご両親に一言

A：感謝です ありがとう

Q：沼田町はどうですか？

A：みんなやさしくとても良い町です

Q：好きな日本食は？

A：牛丼 甘いタレが美味しいです😊

### 広報特別委員

- 篠原 暁
- 三浦実希
- 畑地 誉
- 伊藤 淳

月刊誌「田舎暮らしの本」2月号で、住みたいまちランキング日本一の評価を受けた沼田町との話題がありました。最近でも日本一になったことが多くあります。雪合戦やパワーリフティング、サウナで活躍する熱波師も沼田町から日本一が誕生しています。

これからも楽しい話題で存分に賑わっていただきたいと思っています。

# 今年の思いはこの一文字

跳



小峯議長

丙



畑地副議長

改



大沼議員



上野議員

感

創



鵜野議員

元



久保議員

愛



長野議員

集



伊藤議員

瞬



篠原議員

寧



三浦議員

按田局長

活

外

高橋書記

あとがき



異例となった2月の選挙が終わり、消費税や社会保障、外交などの議論が盛んに行われました。日本の舵取りを託された方々には住みやすく暮らしやすい世の中になるよう期待するところです。